

# ブル・ショベルダザー・パワーショベルの取扱い方法



## 運転者の資格

- 機体重量3トン以上の建設機械の運転は「車輛系建設機械運転技能講習」、3トン未満は「小型建設機械特別教育」を受講し修了証を取得した人に限られます。
- 道路交通法の適用を受ける道路上の運転には、運転免許が必要です。(車検取得車)

## 作業前

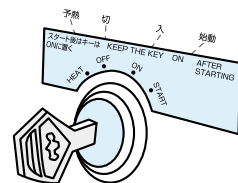
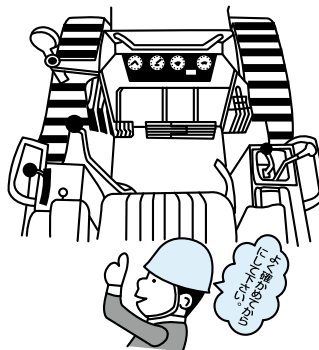
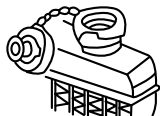
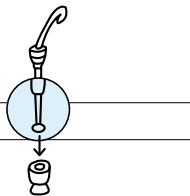
### 始業点検

- 油・水もれの点検
- 各部ボルト・ナットのゆるみ点検・増締め
- 電気配線の断線・ショート、ターミナルのゆるみ点検
- 冷却水量の点検・補給
- 燃料量の確認
- 油量点検・補給(エンジンオイル・作動油)
- 操行ペダルのストローク点検
- メインクラッチペダルの遊び点検
- メインクラッチイナシャブレーキのきき点検
- 燃料、潤滑油、冷却水の点検

燃料、潤滑油、冷却水などの量を点検します。点検、補給するときは、タバコやマッチなどの裸火を近づけてはいけません。必ず消してください。給油するときは風上に立って、給油ノズルを確実に差し込んでから給油、また、給油水のキャップを確実に締めてください。

### ●車の管理

車の点検整備を、こまめに行ない、燃料、潤滑油、油圧系統からの洩れや各部品のゆるみ、破損、紛失等を点検します。



### ●作業機、操作レバーの確認

始動前に…作業機や各操作レバーの位置を確認してください。

1. 変速レバーを中立位置にする。
2. 変速レバー用セーフティレバーをロック位置にする。
3. 作業機を地面に降ろしてあるか確認し、作業レバーを中立位置にする。
4. パーキングブレーキを掛けてあるか、確認する。

### ●始動

1. キーをSTART(始動)に入れてエンジンを始動させます。
2. 始動したらキーをON(入)にもどします(自動的にもどる)。

## 作業中 (作業中の運転は、次のことに気をつけてください。)

### ●埋設物への注意

埋設物(水道、ガス管など)があると思われるときは、埋設物の管理会社に確認するとともに、他の方法でたけし掘りをし、埋設物の有無、位置を確認してから、注意深く作業してください。

### ●後進、旋回時の注意

後退するときや旋回するときは、周囲に誰もいないことを確認して下さい。作業には他の人を近づけないことです。また、障害物にも注意してください。

### ●坂の途中で方向返還しない

坂の途中で方向を変えることは、転倒や横すべりの原因になります。

とくに地盤の軟かいところでは、履帯のスリップで地面が削られたり、斜面の下側に重みがかかって沈下して、予想以上に傾くことがあります。

### ●車の停止、エンジン停止

#### 車の停止

1. ブレーキロックをかける。
2. 変速レバーを中立にする。
3. 変速レバー用セーフティレバーをロック位置にする。(トルクフロー車、ハイドロシフト車)
4. 作業機を地面に降ろし、操作レバーを保持位置にロックする。

## その他の注意事項

### ●水温の高いとき

水温の高いときは、キャップをはずさないでください。熱湯がふき出すことがあります。

また、キャップをはずすときは、内圧を逃がしてからはずしてください。

### ●寒冷地の場合

寒冷地では、固い乾燥した地面に駐車し、足回りが地面に凍りついて、翌朝、動けなくなるのを防ぎます。

適当な場所がないときは、木材を敷いて、その上に駐車します。

油圧シリンダのピストンロッド表面についた水滴は、拭きとってください。



### 不凍液の混入比

温度(°C)	-10	-15	-20	-25	-30
不凍液の混入量	25%	30%	32%	35%	40%